

生まれ変わります「道の駅しもつま」

平成27年夏ごろにリニューアルオープン



4月から改修工事を行う「道の駅しもつま」の本体施設(外観)

国道294号沿いの「道の駅しもつま」は、平成11年に開所以来、間もなく15年が経過します。今回のリニューアルは、新たなにぎわいづくりを目指し、下妻市ならではの食の提供により、人を集め、「人」と「産品」があふれる空間を創出するため、改修するものです。2月20日の下妻市議会第1回臨時会で、「道の駅しもつま」の改修工事に係る補正予算が可決され、今月号では、その概要を紹介いたします。

新しい道の駅に

下妻の「情報発信機能」、道路利用者のための「休憩施設」として平成11年9月2日に開所した「道の駅しもつま」。開所から4年目(平成14年度)のピーク時には年間利用者80万6千人、販売額6億5千2百万円の実績を上げました。

しかし、近年は北関東自動車道の開通による道路体系の変化、東日本震災以降の生活行動や消費の変化などから、利用者数および販売額とも減少傾向にあります。

今回のリニューアルに向けた改修工事では、メイン施設となる「農産物直売所」を別棟から改修建物(本体施設)の中心部に移動し、新たに「焼きたてベーカリー」「コンビニエンスストア」を設置。施設内に回遊性を持たせて利用者の利便性を向上させます。利用者ニーズや時代に即した施設改修により、「道の駅しもつま」のイメージアップや認知度の向上を図り、利用者数および販売額の増加を目指していきます。

改修工事のポイント

①施設配置を変更、ワンフロア化へ

現在、敷地内南棟にある「農産物直売所」を改修建物(本体施設)の中心部に移動。

「コンビニエンスストア」「焼きたてベーカリー」の新規導入や、現レストランを改装して「食事処しもん亭」を再配置するなど、一つのフロアに機能を集約し、利便性にぎわいを創出します。

②施設内の回遊性を確保

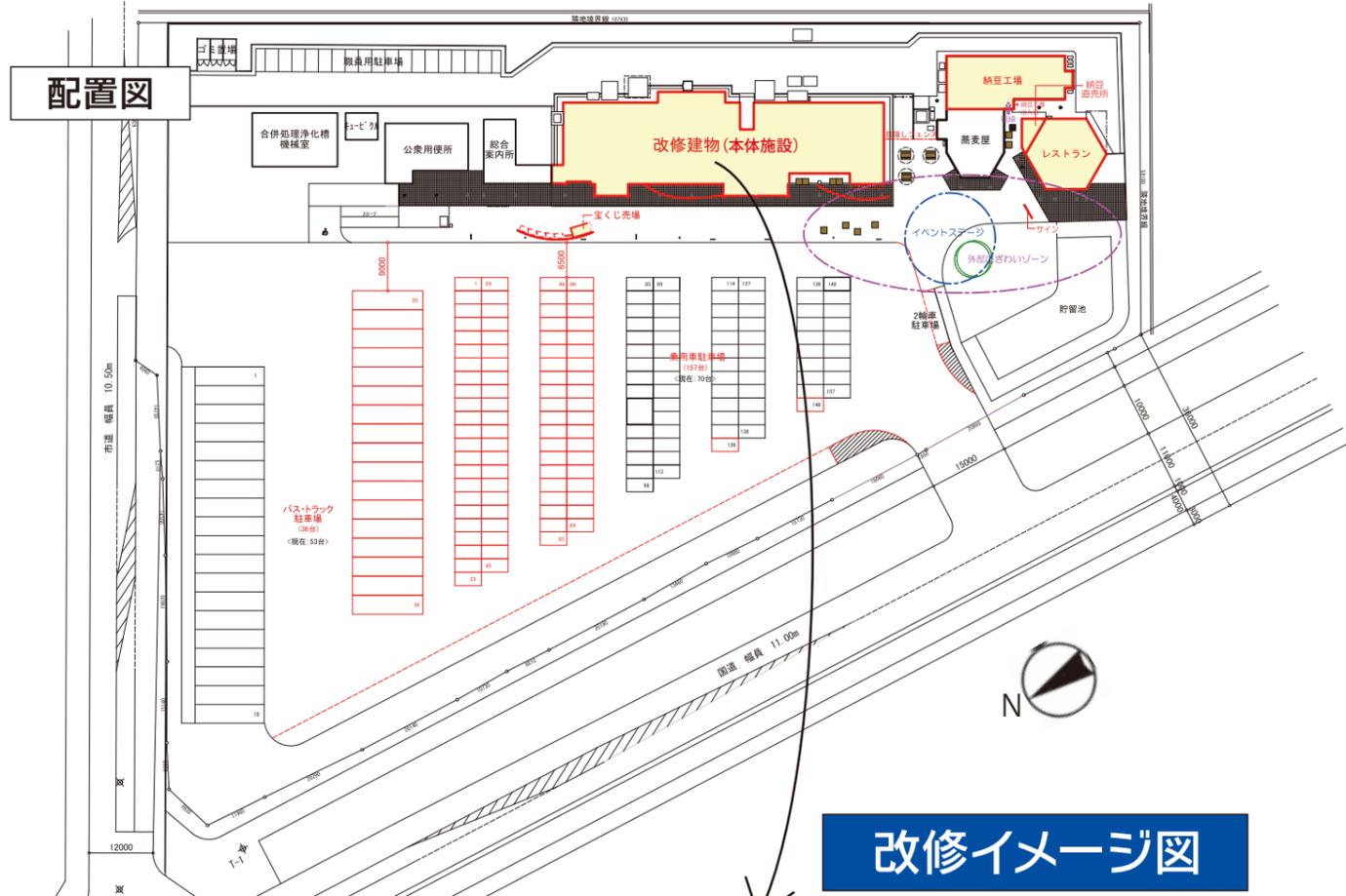
「農産物直売所」を本体施設の中心に、「食事処しもん亭」「休憩コーナー」「焼きたてベーカリー」「コンビニエンスストア」をその周囲に配置することで、施設内の回遊性を確保します。

改修事業の概要

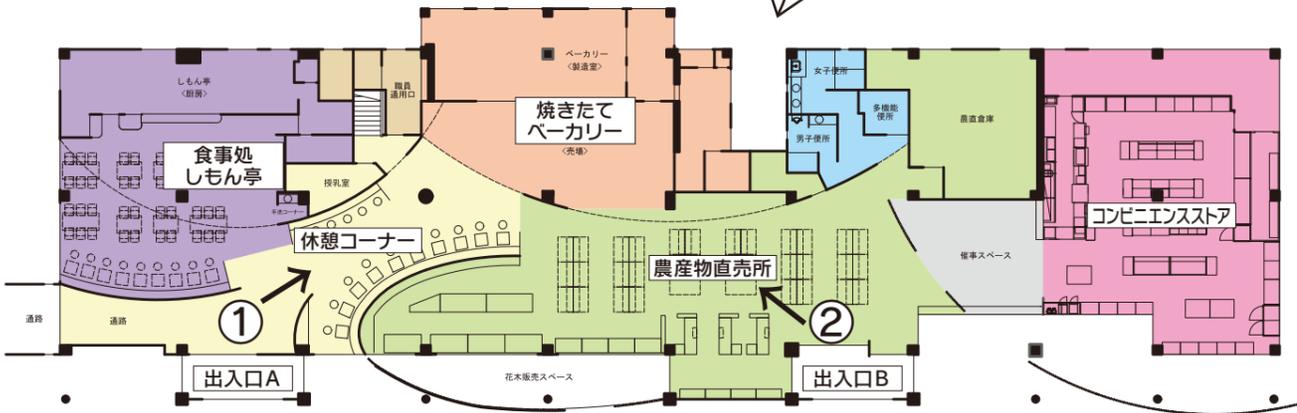
- 事業期間
平成26年10月～平成27年7月
- 総事業費
4億8千万円
(財源・市町村合併特例債など)

●改修工事スケジュール(予定)

月	4月	5月	6月	7月	8月
内容	内	本体施設改修工事	営業準備調整	営業準備調整	営業準備調整
問い合わせ 建設課 ☎45-8127					



改修イメージ図



1階平面図

- 凡例
- しもん亭ゾーン
 - 休憩ゾーン
 - ベーカリーゾーン
 - 農産物直売所ゾーン
 - トイレゾーン
 - コンビニゾーン
 - 管理ゾーン
 - 催事ゾーン



①出入口Aより「焼きたてベーカリー」方向を望む
出入口Aから入ると、正面に「食事処しもん亭」があります。休憩コーナーを抜けると「焼きたてベーカリー」売場があり、テイクアウトして休憩コーナーで飲食できます。



②出入口Bより「焼きたてベーカリー」方向を望む
建物中央に「農産物直売所」を配置しました。地元の採れたて新鮮野菜や果物、農畜産物の特産加工品などを厳選して販売し、「下妻の魅力」をアピールしていきます。